

三鷹市立高山小学校 令和5年度【 外国語 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年			
第2学年			
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のおみやげやクイズを楽しみ聞き、意欲的にコミュニケーションをとって活動していた。 ○AL T集中配置を効果的に活用し、相手や目的を意識しながら活動していた。 ○小文字のアルファベットの名称と書き方について、段階的に触れさせる必要がある。 ○ローマ字の記名についても、計画的に覚えさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○非言語コミュニケーションを使うことを楽しんでいる。 ○各国の文化の違いを見付け、驚きながらも理解を深めている。 ○AL Tと一対一の会話も、聴くことなくできている。 ○大文字のアルファベットに関しては、様々な方法で慣れさせていく必要がある。 ○ローマ字の記名についても、繰り返し指導する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間3回のAL T集中配置を活用して、ゴールを明確にして活動を重ねていく。 ○習得に時間がかかる児童も安心して活動できるように、ゲームや状況設定を変えながら、繰り返し表現に慣れ親しめるようにする。 ○大文字のアルファベットに関しては、様々な活動の中で触れさせていく。 ○友達のおみやげやクイズを楽しみ聞き、自分の記名をローマ字でできるようにするために、サインを集めるなど活動に取り入れていく。 ◎自ら課題を見つけ、粘り強く取り組めるように、学習のゴールを提示した上で児童の言葉をくみ取って授業を展開していく。 ◎"English Festa"を通して、実践的な会話を体験させ、学習に取り組む意欲に繋げる。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のおみやげやクイズを楽しみ聞き、意欲的にコミュニケーションをとって活動していた。 ○AL T集中配置を効果的に活用し、相手や目的を意識しながら活動していた。 ○小文字のアルファベットの名称と書き方について、段階的に触れさせる必要がある。 ○ローマ字の記名についても、計画的に覚えさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各国の文化の違いを見付け、驚きながらも理解を深めている。 ○AL Tと一対一の会話も、聴くことなくできている。 ○文化や言語の違いに気付いている。 ○書くことに対する意欲が高いが、4線上に正しくアルファベットを書くことに対して、段階を追って指導する必要がある。 ○本当の気持ちを込めた言語活動を充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間3回のAL T集中配置を活用して、ゴールを明確にして活動を重ねていく。 ○習得に時間がかかる児童も安心して活動できるように、ゲームや状況設定を変えながら、繰り返し表現に慣れ親しめるようにする。 ○毎時間、学んだ英単語を4線上に書き写す。アルファベットマグネットも活用することで、少しずつ活字に慣れさせていく。 ◎自ら課題を見つけ、粘り強く取り組めるように、学習のゴールを提示した上で児童の言葉をくみ取りながら授業を展開していく。 ◎"English Festa"を通して、実践的な会話を体験させ、学習に取り組む意欲に繋げる。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○集中配置にも慣れ、ゴールを明確にした指導ができた。 ○児童の表現力も高まった。 ○プリントを習熟度に合わせて二種類用意し、苦手意識を減らした。 ○アルファベットを習得していない児童への支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4年生からの学習の積み重ねができてきている児童が多い。 ○文字に対する習得は、丁寧に指導する必要がある。 ○伝えたい気持ち強い。友達を助け、教えることで自らの学びに生かせる児童が多い。 ○はっきりとした発音とジェスチャーで会話する児童が多い。 ○AL T集中配置にも慣れ楽しみにしている児童が多い。苦手意識をもつ児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間5回のAL T集中配置を活用して、ゴールを明確にしながら学習を積み重ねていく。 ○プリントは習熟度に合わせて、2種類用意する。 ○アルファベットは毎時間少しずつ指導すると共に、ミニテストなどで振り返っていく。 ◎TGG（東京都英語村）での体験を通して、実践的な会話を体験させ、意欲に繋げる。 ◎パフォーマンステストを活用し、自分の考えや気持ちを伝えることに慣れ親しませる。 ○発表を聞くときには、カラーカードで意思表示をし、自分の考えと比べながら聞かせる。 ○分からないことはタブレットを活用しながら自分で調べる。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○集中配置にも慣れ、ゴールを明確にした指導ができた。 ○児童の表現力も高まった。 ○プリントを習熟度に合わせて二種類用意し、苦手意識を減らした。 ○さらに習熟度が低い児童への支援が必要と感じた。特にアルファベットの習得には、配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5年生からの学習の積み重ねができてきている児童が多い。 ○日本全国の特産物や地理等、日本の文化に詳しい児童が多く、伝えたい気持ち強い。 ○友達を助け、教えることで自らの学びに生かせる児童が多い。 ○はっきりとした発音とジェスチャーで会話する児童が多い。 ○AL T集中配置にも慣れ楽しみにしている児童が多い。苦手意識をもつ児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間5回のAL T集中配置を活用して、ゴールを明確にしながら学習を積み重ねていく。 ○小学校卒業に向けて、中学校教員と相互乗り入れをしながら、協力して指導していく。 ○プリントは習熟度に合わせて、2種類用意する。 ◎TGG（東京都英語村）での実践的な会話をを通して、学習への意欲に繋げる。 ◎パフォーマンステストを活用し、自分の考えや気持ちを伝えることに慣れ親しませる。 ○発表を聞くときには、カラーカードで意思表示をし、自分の考えと比べながら聞かせる。 ○分からないことはタブレットを活用しながら自分で調べる。